

ご利用者の感想 / フランス パリ /透析 2011



[Centre de dialyse Saint Jean le Baptiste](#)

[＜ご利用者の感想 目次＞](#)

施設名 : Centre de dialyse Saint Jean le Baptiste

まず、最初のコンタクトですが、HP上からの申請はうまくいかないようで、2度ほど送信しましたが、何の連絡もなかったため、ファックス送信して無事予約できました。その後のやりとりはファックスでした。

フランスの田舎の病院で不安もありましたが、さすがルルドは世界中から難病患者が訪れるだけあって、医療水準・医療スタッフの意識の高さは素晴らしく、ほとんど不安を感じることなく透析を受けられました。

透析の機械もコンピューター制御の新しいものでしたし、穿刺時の止血帯までが使い捨てなのには、驚きました。私は午後からの透析でしたが、途中コーヒーか紅茶とおいしいビスケットを出してくれ、そのおやつは量だけきちんとあらかじめ体重計算して、引いてくれていましたし、ロッカー付きの更衣室もあり、ちゃんと着替えることができましたし、日本並のきめ細かさでした。

私の血管は細いのですが、看護師は穿刺もとてもうまかったですし、少し寒

いなと感じた時、「寒い？」ときいてくれて、新しいシーツと毛布をすぐに持ってきてくれましたし、透析室の大きな窓からは、壮大で美しいピレネー山脈とルルドの聖堂が見え、本当に気分よく安心して透析を受けられました。

透析後は、全てシーツをはがして、ベッド・枕、血圧計のベルトまでアルコール拭きして消毒していました。

ここの清潔さは、かなり神経質な私が驚くほど徹底して管理されており、そういう面でも本当に良い病院でした。ただし、英語はあまり通じません。健康保険のフォームを書いてもらうのに、少し苦労しましたが、不安要素はその程度でした。

ただし、支払はキャッシュオンリーです。ベッド透析で、検査代込で約360ユーロでした。

駅からタクシーで5分ほど。値段はドライバーによって変わります。8～10ユーロくらいです。

帰りは、受付でタクシーを呼んでくれます。

2011/1/4

[<ご利用者の感想 目次>](#)